

緩やかな回復

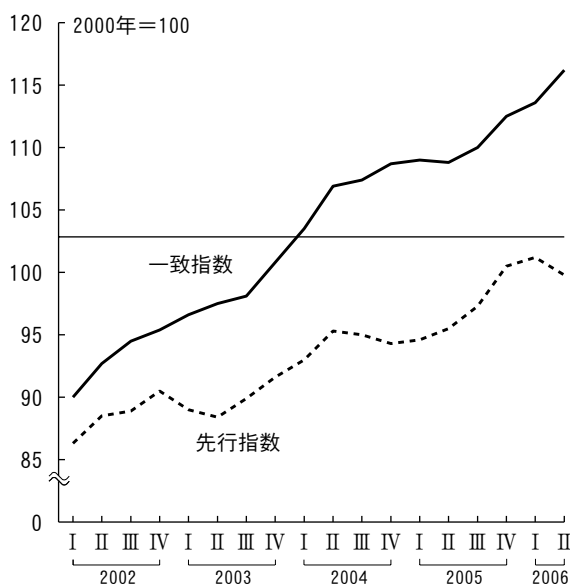
動向分析チーム

当会で作成している九州地域景気総合指数（CI）の一致指数は、2006年4～6月期に116.2（2000年=100）と、前期比で2.2ポイント上昇した。一方、内閣府がとりまとめている景気ウォッチャー調査の九州地域現状判断DIは、7月に47.4となり、2カ月連続で

50のラインを下回った。九州地域景気総合指数は生産部門の影響が強く、景気ウォッチャー調査は消費の影響を強く受けるため、両数値の方向性が異なる結果となった。

主要項目をみると、鉱工業生産指数は4～6月期108.6と、前期から2.8ポイント上昇し

九州地域景気総合指数（CI）



「景気ウォッチャー調査」現状判断DI

